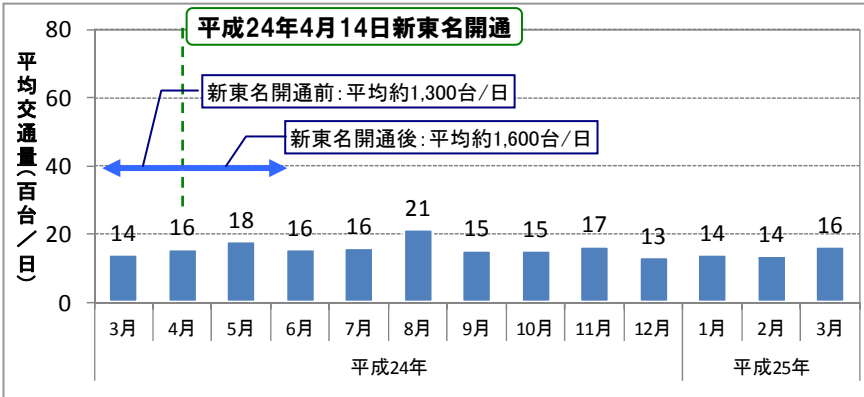


三遠南信自動車道(鳳来峡IC~浜松いなさJCT)の整備効果

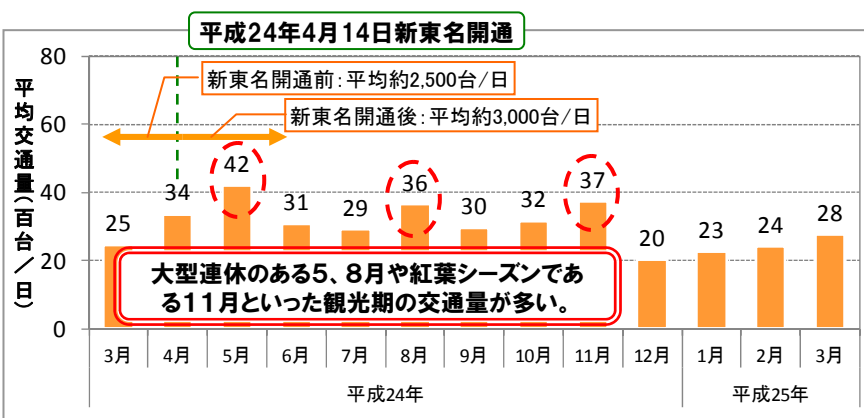
三遠南信自動車道の利用状況

○平成24年3月4日の鳳来峡IC~浜松いなさ北IC間の開通後1年を迎え、開通区間の交通量は平成24年4月14日の新東名との接続後、平日で16百台/日、休日で30百台/日と順調に推移しています。
 ○特に、観光期の休日交通量が多く、紅葉の見頃となる11月では昨年と比べ国道151号(池場)の交通量が約3割増加しており、観光交流の活性化が確認されました。

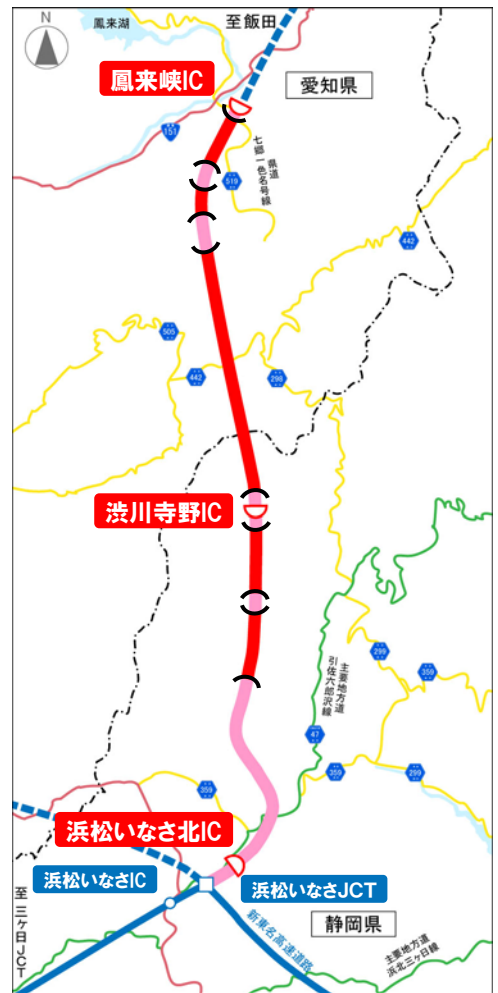
■三遠南信自動車道(鳳来峡IC~浜松いなさJCT)月別利用交通量【平日】



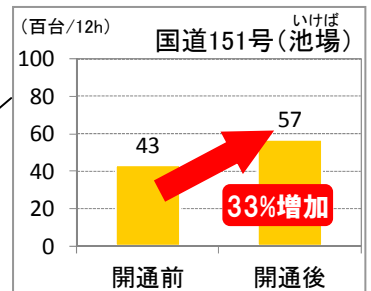
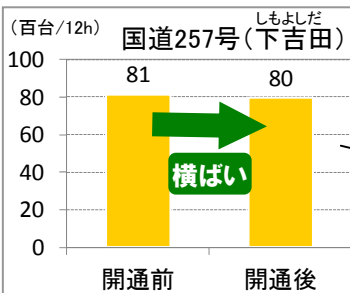
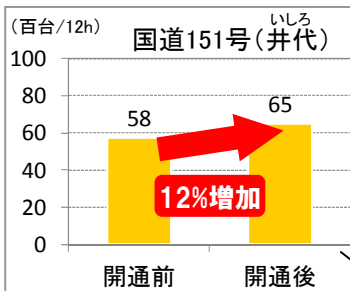
■三遠南信自動車道(鳳来峡IC~浜松いなさJCT)月別利用交通量【休日】



データ: 国土交通省交通量計測データ
 新東名開通前: H24.3.4~H24.4.13 新東名開通後: H24.4.14~H25.3.17



■三遠南信自動車道(鳳来峡IC~浜松いなさJCT)開通前後の交通量変化



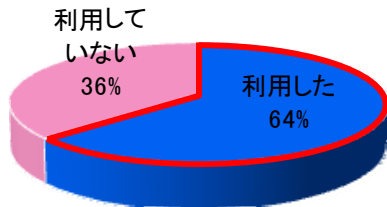
《出典》交通量調査結果 開通前: H23.11.20(日) 開通後: H24.11.24(土)

新城市HPより

伝統芸能を通じた広域交流の促進に寄与

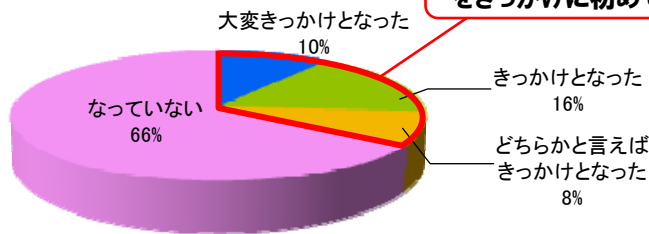
- 寺野地区では毎年1月3日に、地域古来の伝統芸能「寺野ひよんどり」が開催されています。
- 浜松市以外からの来訪者の内、約6割が浜川寺野ICを利用しています。
- 今年、初めて訪れた方の約3割が新東名、三遠南信自動車道の開通をきっかけに来訪していることから、三遠南信自動車道が伝統芸能を通じた交流に寄与していると考えられます。

■浜松市外からの来訪者の浜川寺野IC利用状況



浜松市外からの来訪者の約6割が浜川寺野ICを利用

～三遠南信自動車道の開通は来訪されるきっかけとなりましたか～
※今回、初めて来訪された方を対象



約3割の方が三遠南信開通をきっかけに初めて来訪

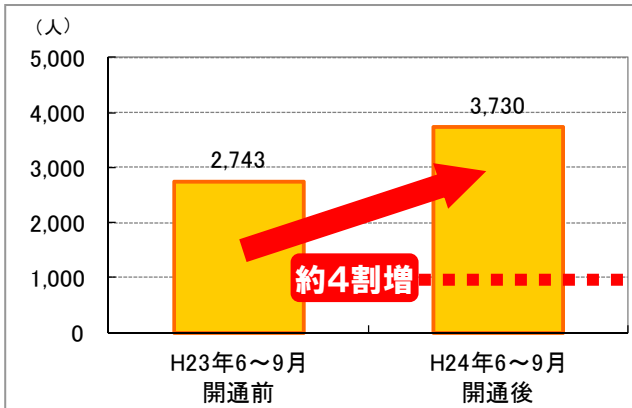
《出典》寺野三日堂でのヒアリングデータ(H25.1.3実施)



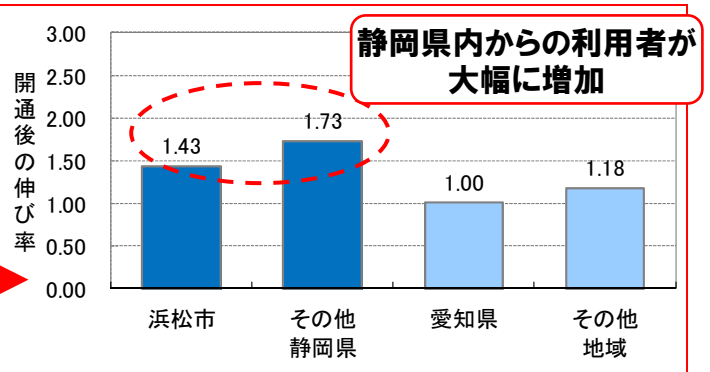
観光交流の活性化・広域化に貢献

- 三遠南信自動車道浜川寺野ICの近くには、川遊びやバイクトライアルができるキャンプ場があり、三遠南信自動車道の開通後来場者が約4割増加しました。
- 特に、静岡県内からの利用者が増加しており、浜松市内からの利用者は4割増、その他の静岡県内からは7割増加と三遠南信自動車道と新東名が一体となり、交流エリアの拡大に貢献しています。

■「てんでんゴーしぶ川」利用者数の推移



■「てんでんゴーしぶ川」方面別利用者数の変化



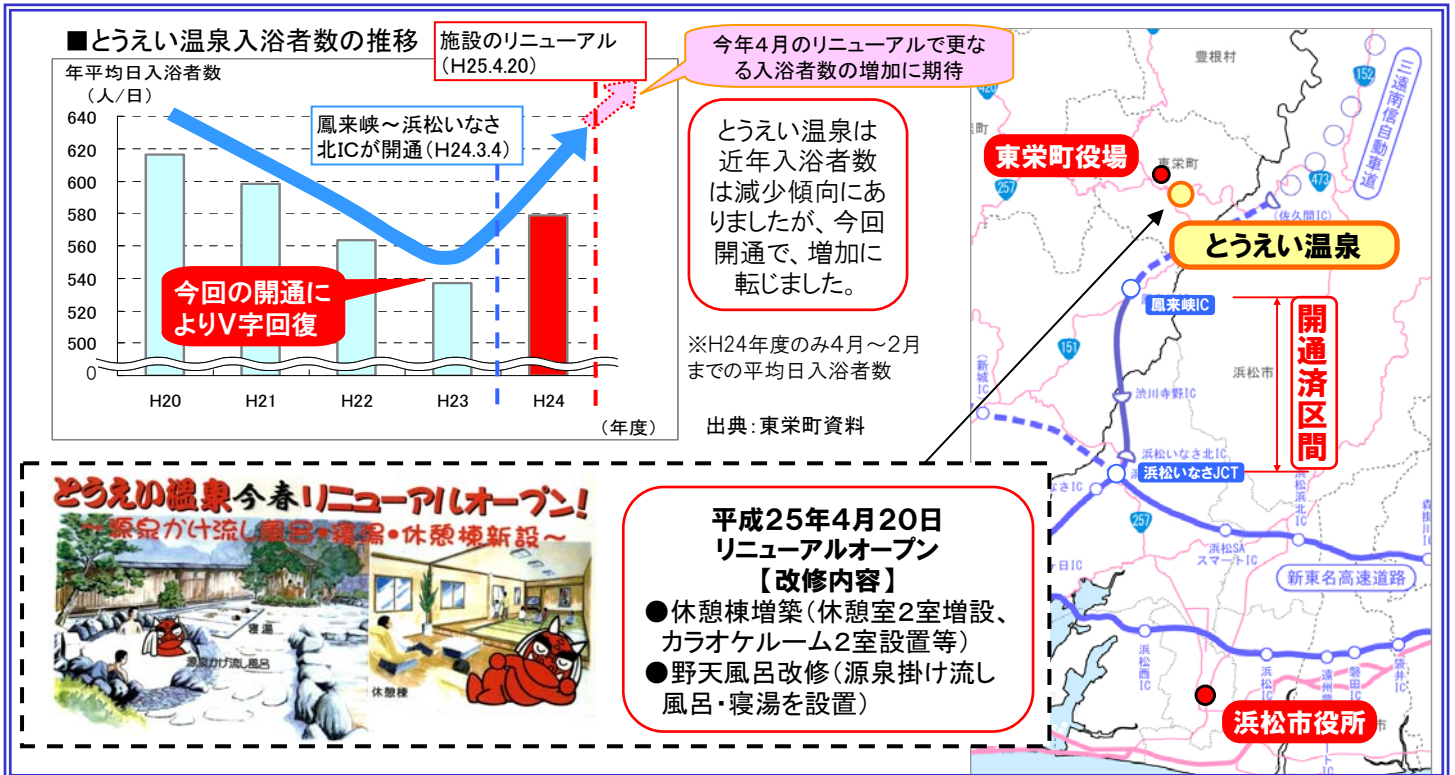
《出典》NPO法人「大好き浜川」提供データ

キャンプ場運営者（NPO法人「大好き浜川」）の声

三遠南信自動車道・新東名の開通後、リピーターだけでなく新規の利用者も増加しており、遠方より来られるリピーターの方からはアクセス性の向上について好評を頂いています。また、夏季以外にも秋のしいたけ狩りや大晦日の利用者も増加しており、交流の増加を実感しています。

地域の交流・活性化事業を誘発

- 東栄町の「とうえい温泉」では三遠南信自動車道の開通により入浴者が増加し、相乗効果をねらって、もてなし・集客機能の強化のため、施設の改修事業が進められています。
- 三遠南信自動車道の開通は地域の交流・活性化に向けた取り組みの具体化を促進し、地域振興の大きな契機となっています。



行政・民間の連携による新たな定住拠点づくりが始動

- 東栄町では三遠南信自動車道の開通を機に行政と民間が連携して、宅地開発事業(金紫平(きんしだい)ら)宅地開発事業が進められています。
- 浜松へのアクセス向上が当開発事業ひいては地域の定住促進に大きく貢献していることがうかがえます。

